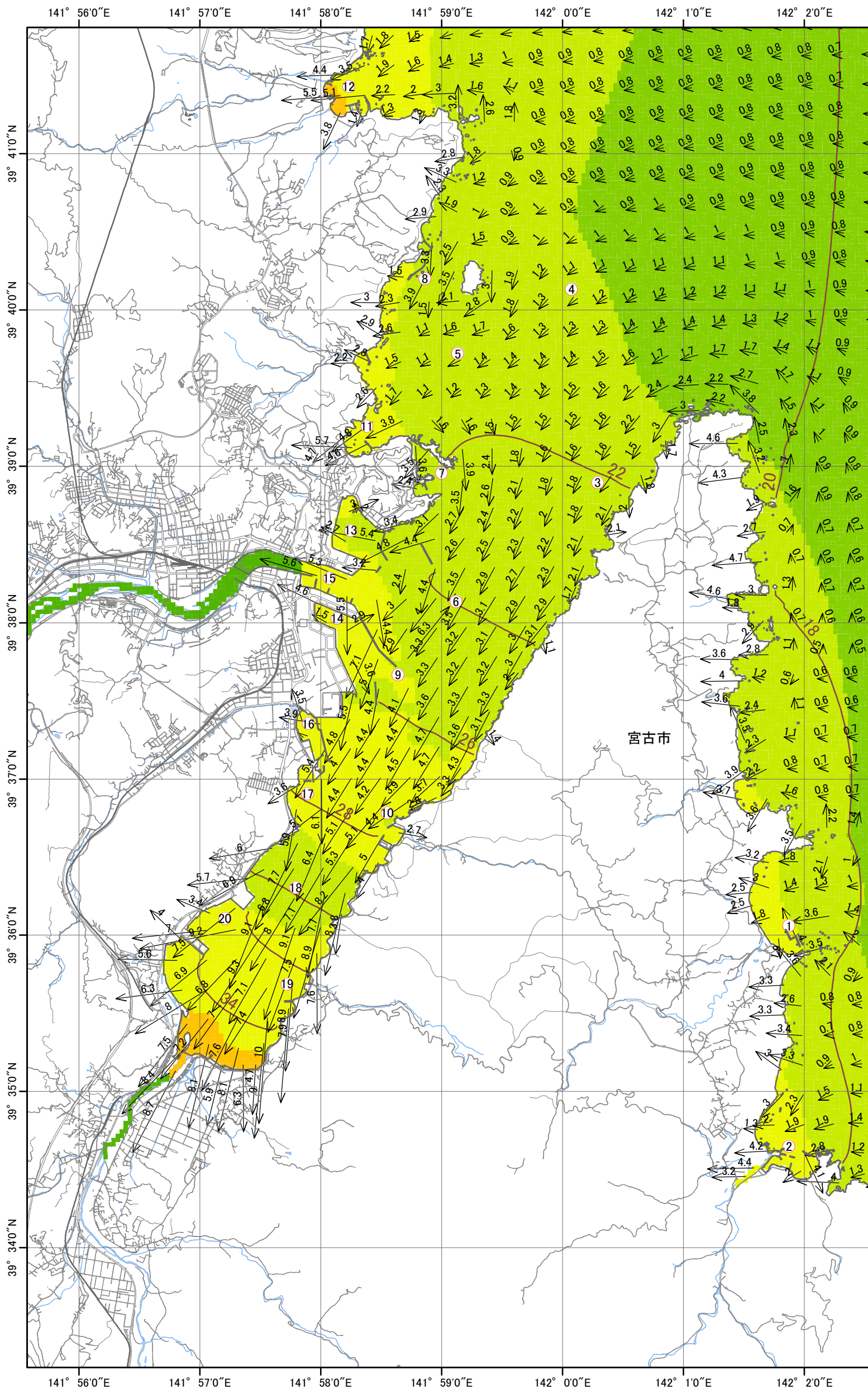


計算条件: 最高水面(零位)
 隆起量: 平均 -0.08m(-0.09m ~ -0.07m)
 Zo: 0.83m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

5~最大6.7m

3~5m

2~3m

0.5~2m

0.5未満

⊙ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

→ 6 knot

→ 4 knot

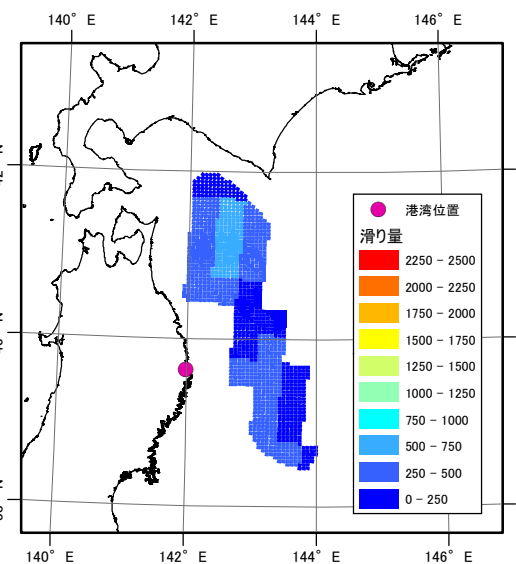
→ 2 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点をもとに算出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断層モデルは、平成18年中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

0 500 1,000 2,000 3,000 4,000



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基盤地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基盤地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

作成機関: 海上保安庁
 防災情報作成年月: 平成30年4月(初版)
 地形データ作成年月: 平成28年3月(初版)